

小高小学校・小高中学校のあり方における検討プロセスの

見直しについて

1. これまでの検討プロセスの課題

- (1) これまでの検討の進め方では、保護者との対話が不足していた。
- (2) 保護者の意見を十分に伺う前に、市教育委員会の方針提案が中心となっていた。

2. 今後の検討の方向性について

- (1) 学校の今後のあり方については、前回の意識調査の結果だけで判断するのではなく、保護者と一緒に、学校のあり方を考えていきたい。
- (2) その第一歩として、保護者の考える「目指すこどもの姿」や「あるべき教育環境」などについて、保護者との対話、共有を再スタートさせる。

3. 具体的な検討プロセスについて

今後の詳しい進め方は、資料 1 - 2 「検討プロセスの変更イメージ」を参照。

4. 小高小学校・小高中学校のあり方における検討スケジュール

	1月			2月			3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
意識調査		○	○						
検討準備協議会		○			○				○
保護者懇談会							○		

意識調査の内容	①「目指すこどもの姿」 ②「あるべき教育環境」 ③「保護者懇談会への参加できなかった理由」等
検討準備協議会の内容	【1月中旬】①「検討プロセスの見直し」 ②「意識調査の実施」
	【2月中旬】①「意識調査の結果の報告」 ②「保護者懇談会の実施」
	【3月下旬】①「懇談会の意見」の報告 ②意識調査の結果と懇談会の意見から見える「目指すべき学校像」
保護者懇談会の内容	①「意識調査の結果」についての意見交換 ②「不安を感じる項目」についての意見交換

※詳細は資料 1 - 3 「小高小学校・小高中学校のあり方検討に係る令和 7 年度のスケジュール (案)」を参照